

語句説明	あいうえお、アイウエオ、アルファベット順
終端	<p>バスを終わらせること。</p> <p>バスを終わらせるデバイス。</p>
追加情報	
追加情報ファイル	<p>ETCファイル</p> <p>ユーザーが設計に基いて、必要な情報を付与するためのファイル。</p> <p>テキストファイル。手動で編集ができる。</p>
アサイン	<p>端子やデバイス、NETなどに対して情報を付与すること。</p>
スルー	<p>3pin以上のデバイスでバスを通過させたい場合。スルー設定を入れます。</p>
チェック	<p>ScoutChecker?で回路の検査を行うこと。</p>
デバイス	<p>部品のこと。</p> <p>回路上の部品全てがこれに当てはまります。</p> <p>デバイス本体と端子。</p> <p>Unitで言うとはREF+PIN。</p>
バス	<p>ここではデバイス間の接続をバスと呼ぶことにします。端子から終端条件のあるデバイスまたはNETまでの接続を1つのバスとします。バスはNETを共有出来ます。(例：VCC端子には電源ICの出力端子、バスコンなどが繋がっていますが、VCC端子-電源出力端子/VCC端子-バスコン それぞれが一つのバスになります。)</p>
BOM	
BOMファイル	<p>Bill of materialの略。部品構成表。回路図のシンボルに対して詳細情報を記載したもの。</p>
CA	<p>ConArrayの略。Con配列。プロジェクト内の全てのデバイス本体ーピン（端子）／ネットーピン（端子）接続の情報が、この中に入っています。</p>
Con	<p>デバイス本体ー端子／ネットー端子接続を個々にConという単位で扱います。(全て1:1接続です)</p>
DEVKEY	<p>端子が属するデバイス本体のKey。端子が自分の親デバイスを把握するために持つ。</p> <p>デバイス本体のUnitも持っている。</p>
DRC	<p>Design Rule Checkの略。</p> <p>一般的に回路図CADに付属で付いている場合が多い。</p> <p>内容についてはCADによってまちまちで、具体的に何を指すかは決められていない。</p>
ETCファイル	<p>追加情報ファイル。</p> <p>ユーザーが設計に基いて、必要な情報を付与するためのファイル。</p> <p>テキストファイル。手動で編集ができる。</p>
Key	
KEY	<p>このプロジェクト内でUnit(デバイス本体/ピン（端子）/NET)を特定するために付ける名前。</p> <p>配置番号のようなもの。</p> <p><b>フォーマットは</b></p> <p>基板シンボル.部品配置番号.ピン（端子）番号</p> <p>例：CMOS.CN3.1</p>
NET	<p>NETリストを最小単位Unitにバラした時の基板のパターン部分。</p>
NETリスト	<p>ネットリスト。回路図CADが吐き出す結線情報。</p>
PIN	<p>NETリストを最小単位Unitにバラした時の端子の部分。デバイスの端子。デバイスは必ず端子でNETに接続されていることを前提にしています。</p>
REF	<p>NETリストを最小単位Unitにバラした時のデバイス（部品）本体の部分。</p> <p>回路上の部品全ての本体部分(端子除く)がこれに当てはまります。</p>

RTYPE

部品タイプ。REFの種類。部品配置番号の頭のアルファベット。このツールではこのアルファベットでデバイスの種類を把握しています。

RTYPE	定義
R	抵抗
C	コンデンサ
L	インダクタ
F	ヒューズ
Z	EMIフィルタ、パリスタ
CN	コネクタ
X	発振器、発信子
D	ダイオード、LED
Q	トランジスタ
IC	半導体
U	自分ではあまり使わないですが、使う人が多いので半導体に近い何かとして定義

SYMBOL(基板シンボル(テキスト))

基板を特定するシンボル名。  
Batファイルで定義します。  
主に基板間の配置番号の被り対策に使います。

UA

UnitArrayの略。Unit配列。プロジェクト内の全てのUnit(デバイス本体／ネット／端子) 情報が、この中に入っています。

Unit

REF/NET/PINの単位、総称。  
NETリストをこの最小単位Unit(REF/NET/PIN)に分解した時の呼び名。  
デバイス本体／ネット／端子を個々に(REF/NET/PIN)というUnit単位で扱います。